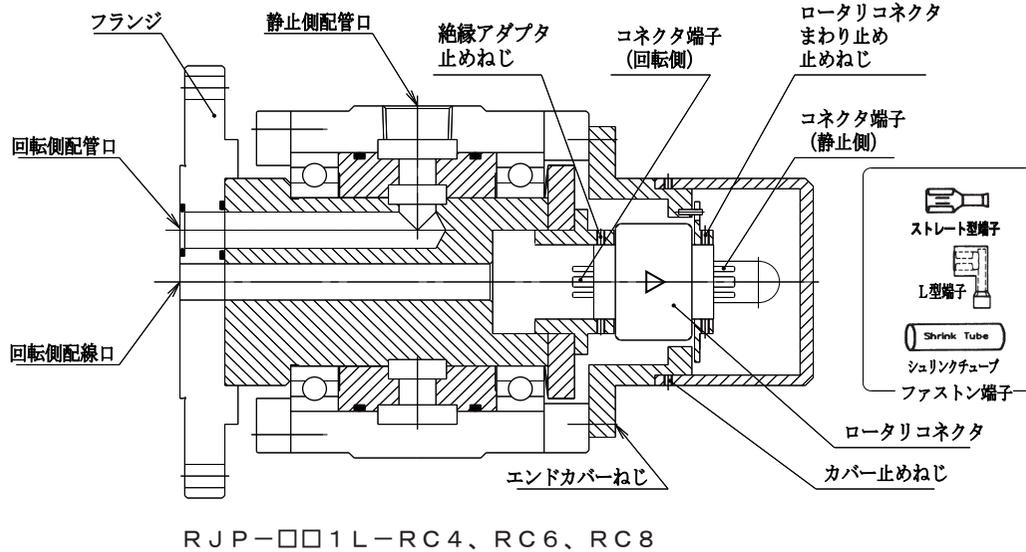


取扱説明書

ロータリジョイント RJP-□□□L-RC4, RC6, RC8

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、製品の内容をよく理解した上で正しくご使用ください。また、本品に付属されているロータリコネクタの取扱説明書も合わせてお読みの上ご使用ください。

1. 構造図



注意：他機種別の構造につきましては図面をご参照ください。

2. ご使用に際して

- (1) 本品は主に一般機械産業用にご使用いただくものです。医療関連機器、プラント、原子力関連装置、食品関連機器、安全機器などにご使用の際は、必ず当社にご相談ください。
- (2) 当社以外での修理、分解または改造は行わないでください。故障の原因となります。
- (3) ロータリジョイントの回転部の構造はメタルシール方式ですので、必ず少量の空気の漏れがあります。
- (4) 腐食ガス、薬品、海水、水、水蒸気などの環境下ではご使用しないでください。
- (5) 周囲温度は5℃～50℃でご使用ください。
- (6) ホコリなどの多い場所に設置する場合は、本体にホコリが、かからない環境でご使用ください。
- (7) フィルタは、ろ過度5μm以下のものをご使用ください。

3. 本体の取付け及び配管時の注意

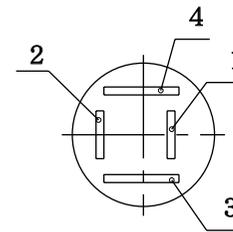
- (1) 本体のフランジとお客様の回転体との偏心量を0.05mm以内に固定してください。
- (2) 本体の静止側は、まわり止めを設ける程度とし、絶対に固定はしないでください。本体の静止側には、まわり止め用としてのタップ穴が（4箇所）加工されています。
- (3) 配管はエア専用のホースで行ってください。鋼管などで配管を行うと偏荷重によ

り内部を破損することがあります。

- (4) 配管を行う前に配管内のゴミやホコリを完全に除去してください。
- (5) 配管をねじ込む時に、ねじの切粉やシール材を本体内部へ混入させないでください。

4. ロータリコネクタの取付け及び配線時の注意

- (1) コネクタ端子への半田付けは行わないでください。
- (2) ファストン端子の数多い着脱は、接触不良の原因となりますので行わないでください。
- (3) ファストン端子の着脱時にコネクタ端子をこじったり、曲げたりしないでください。コネクタ端子が破損する恐れがあります。
- (4) ファストン端子を着脱する時は、必ず電源が切れていることを確認してから行ってください。
- (5) RC4型のコネクタ端子と配線色
RC4型の回転側のコネクタ端子は出荷時、下記の図の通り結線されています。



ケーブル配線色

- 端子1：黒白
- 端子2：赤白
- 端子3：黒
- 端子4：赤

(6) コネクタケーブル接続工事の方法

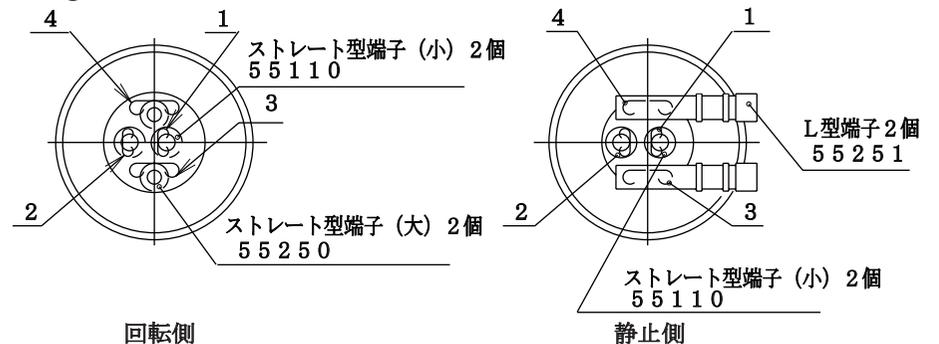
RC6型及びRC8型はケーブルが接続されていませんので、以下の手順で結線を行ってください。

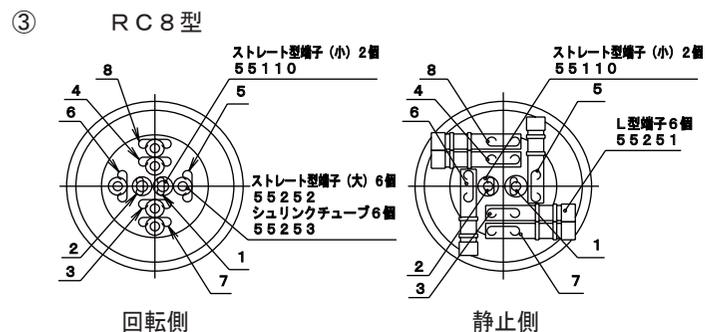
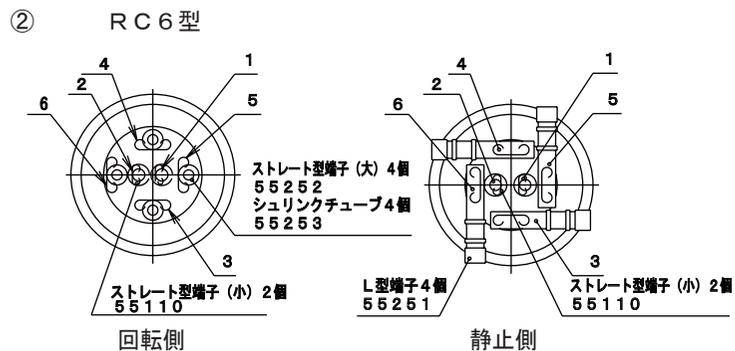
- ① カバーの止めねじをゆるめ、カバーを外す。
- ② ロータリコネクタまわり止めの止めねじをゆるめ、ロータリコネクタまわり止めを外す。
- ③ エンドカバーのねじをゆるめ、エンドカバーを外す。
- ④ 絶縁アダプタの止めねじをゆるめ、ロータリコネクタを引き抜く。
- ⑤ ロータリコネクタの取付け方向を確認し、回転側のコネクタ端子にケーブルを結線する。取付け方向は（8）項を参照ください。
- ⑥ 逆の手順で全体の組立てを行う。

(7) ファストン端子の取付け方向

ファストン端子の取付け方向は以下の図の方向に取付けてください。取付け方向を間違えますと短絡事故を起こすことがありますのでご注意ください。

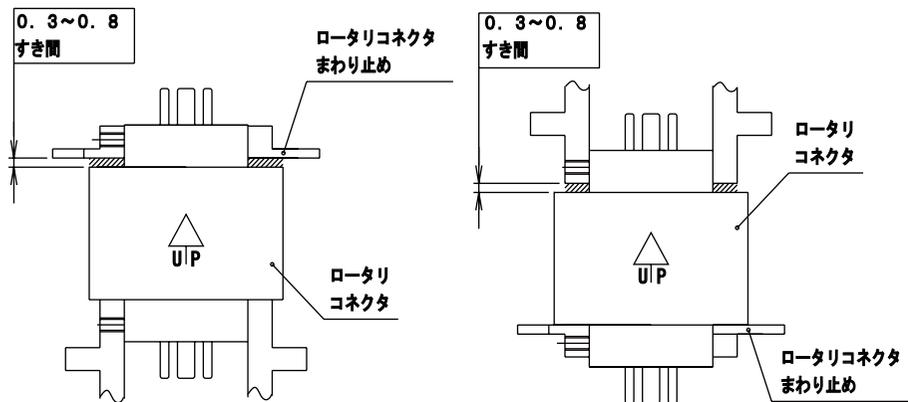
① RC4型





(8) ロータリコネクタの取付け方向及び取付け方法

本体を水平にしてご使用の場合はどちらの方向に取付けてもかまいませんが、垂直にしてご使用の場合は、ロータリコネクタの外周に印刷してあるマーク『△UP』を上向きの方取付けてください。また、取付けの際は、下図の斜線部に0.3~0.8mmのすき間を設けて取付けを行ってください。



①垂直でフランジを下向きに取付ける場合

②垂直でフランジを上向きに取付ける場合

5. 保証期間及び保証範囲

保証期間はお客様へ納入後、1年といたします。
保証期間中に取扱説明書に従った正常なご使用状態で故障した場合は、その機器の故障部品の交換・修理を無償で行います。
但し、保証期間内でも次の事項などに該当する場合は、保証対象になりませんのでご注意ください。

6. お客様側の取扱いの不注意及び誤使用による故障

- (1) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反する取扱いによって生じた故障
- (2) 仕様を超える環境条件での取扱いによる故障
- (3) 故障原因が当社以外の事由による故障
- (4) 当社以外での修理、分解または改造による故障
- (5) 天災、災害などで当社の責任でない故障

7. 廃却処理

ご使用済みになりましたロータリコネクタは、“水銀を含む産業廃棄物”として専門業者に処理をお願いしてください。処理ができない場合は、使用済みのロータリコネクタを下記住所までお送りください。

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-13-7
株式会社 ソルトン 商品管理部
Tel. 045-471-7711 (代表)

株式会社 Parker TAIYO

URL: <https://www.taiyo-ltd.co.jp>